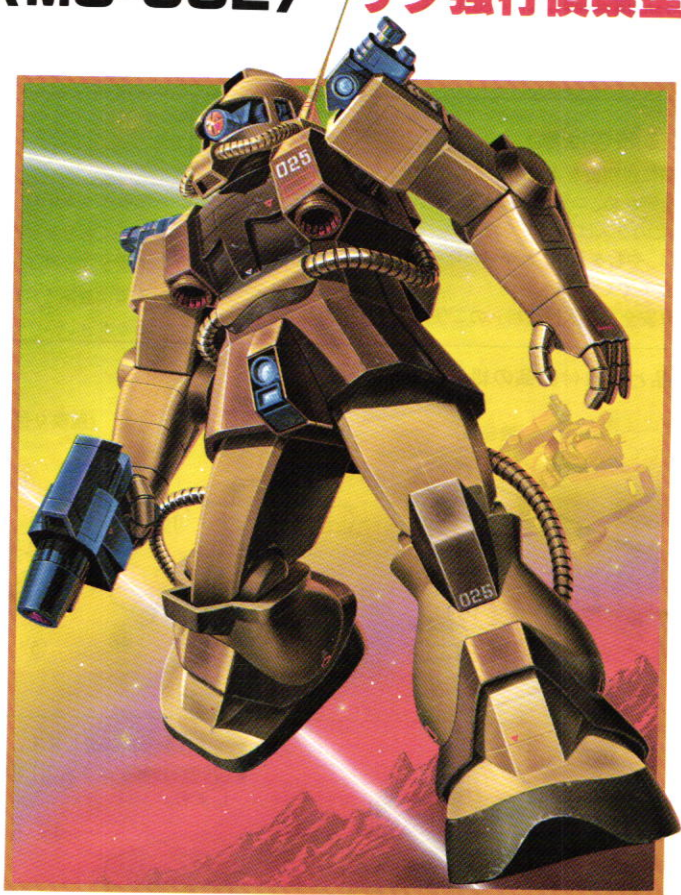


1/144
SCALE **ZAKU RECON**

〈MS-06E〉 **ザク強行偵察型**



Z
MOBILE SUIT
GUNDAM
Z
SERIES
15

**BAN
DAI**

© 創通・サンライズ



注意

必ずお読みください

- とがった部品がありますので、8才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 接着剤は、閉めきった室内では使用しないでください。中毒になる危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。



● 接着するところ

● 接着しないところ



● 接着剤がつかない様に注意!



● 向きに注意

《組み立てる時の注意》

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取ったあとのクズは捨ててください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが気をつけて組み立ててください。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

このキットには、接着剤は入っておりません。お手数ですがプラスチックモデル専用接着剤を別にお買い求めください。

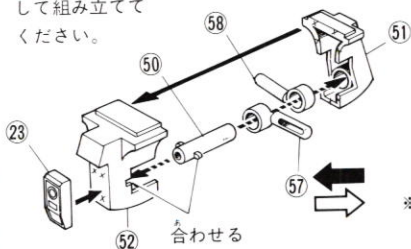
1 《腰部部品と腕取付部品の組み立て》

- 57・58の向きに注意して組み立ててください。

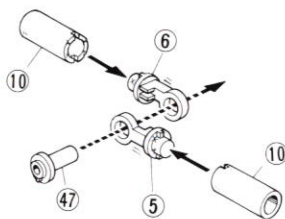
《腰部部品》

《できあがり図》

《腕取り付け部品》

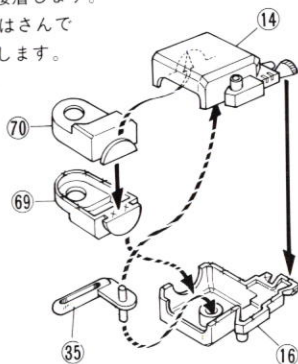


※57・58の向きに注意してください。

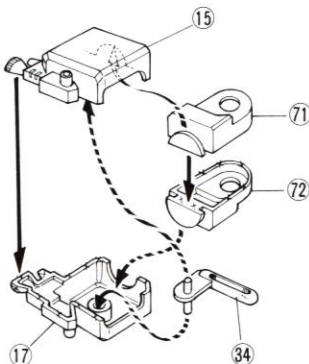


2 《肩の組み立て》

- 先に70を69に接着します。
- (69・70)と35をはさんで14を16に接着します。



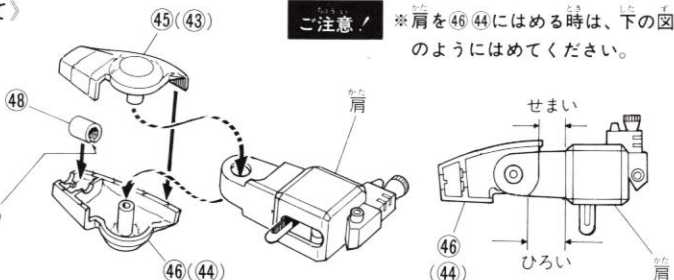
- 先に71を72に接着します。
- (71・72)と34をはさんで15を17に接着します。



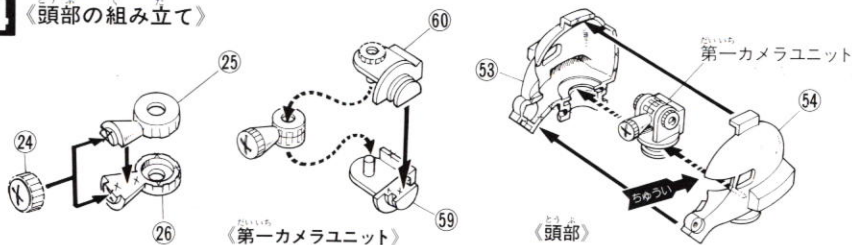
3 《腕の組み立て》

- ④⑧と^{かた}肩をはさんで
④⑤を④⑥に、④③を④④
に接着します。
※ 2個^{こく}組み^た立てて
ください。

※このスキ間を④6の
凸にはめこむ



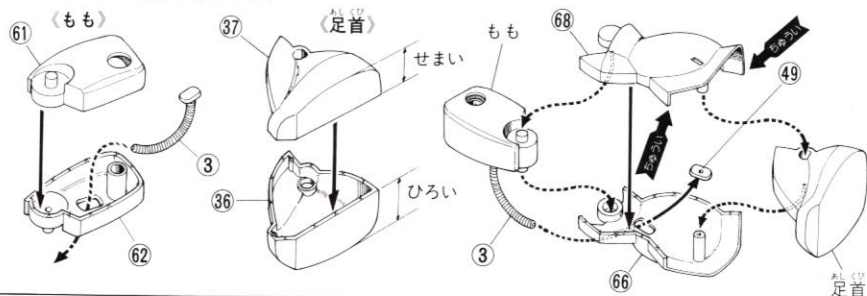
4 《頭部の組み立て》



5 《右足の組み立て》

- 先に“もも”と足首^{あしぐし}を作ります。

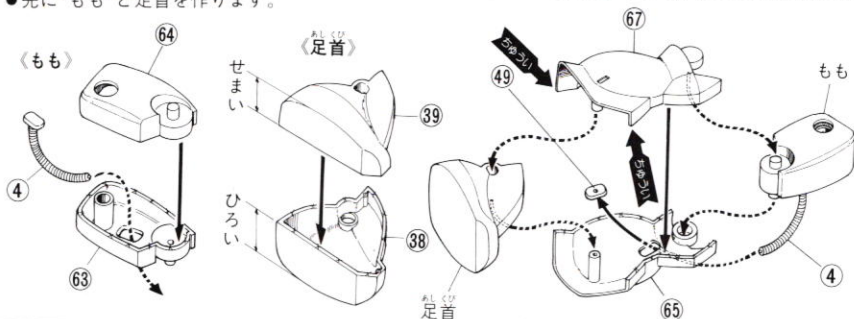
- ③を⑥⑥の穴^{あな}にとおし、④⑨に接着^{せつちゆう}します。
- “もも”と足首^{あしぐひ}をはさんで、⑥⑧を⑥⑥に接着^{せつちゆう}します。



6 《^{ひだりあし}左足の^く組み^た立て》

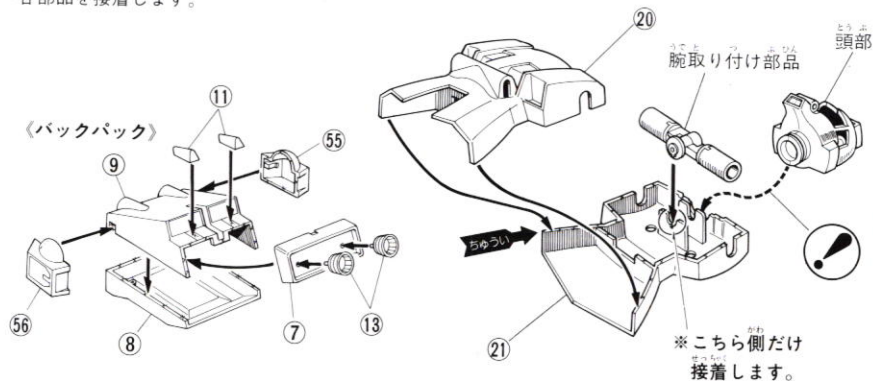
- 先に“もも”と足首^{あしぐひ}をつく。

- ④を⑥^{あし}の穴にとおし、④^{せうちゅう}に接着します。
- “もも”と足首^{あしぐし}をはさんで、⑥^{せうちゅう}を⑥^{せうちゅう}に接着します。



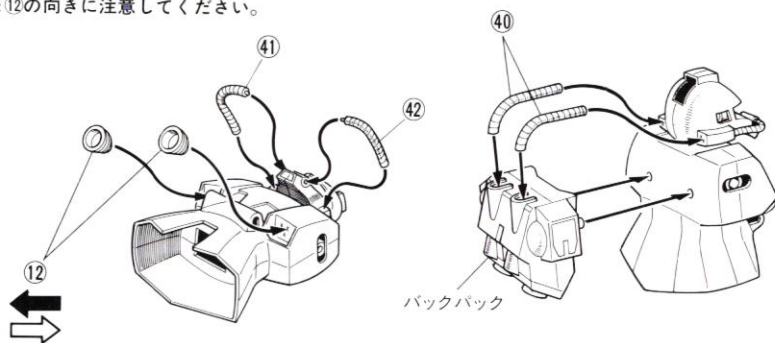
7 《バックパックの組み立て》

- 先に⑨を⑧に接着してから、各部品を接着します。



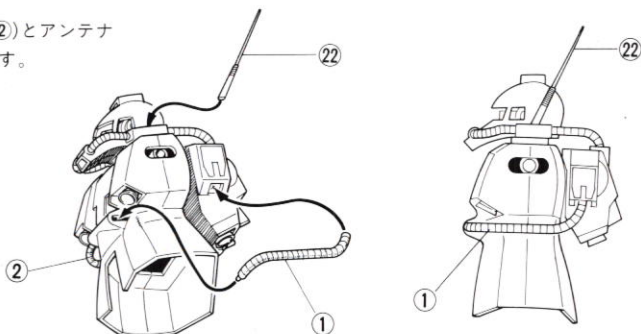
8 《バックパックの取り付け》

- 各部品を接着します。
- ※⑫の向きに注意してください。

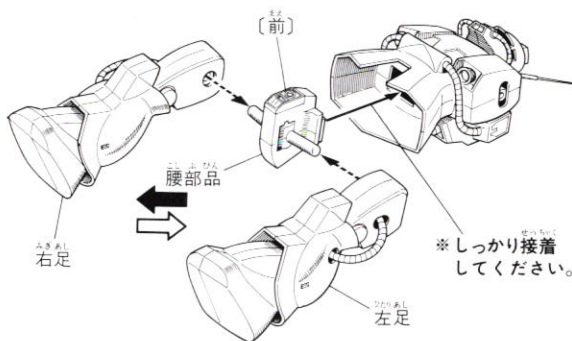


9 《伝導パイプの取り付け》

- 伝導パイプ(①②)とアンテナ(22)を接着します。

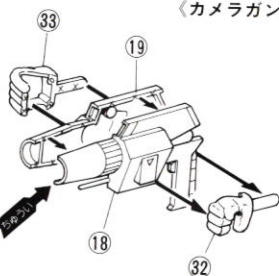


10 《足の取り付け》



●各部品を接着します。

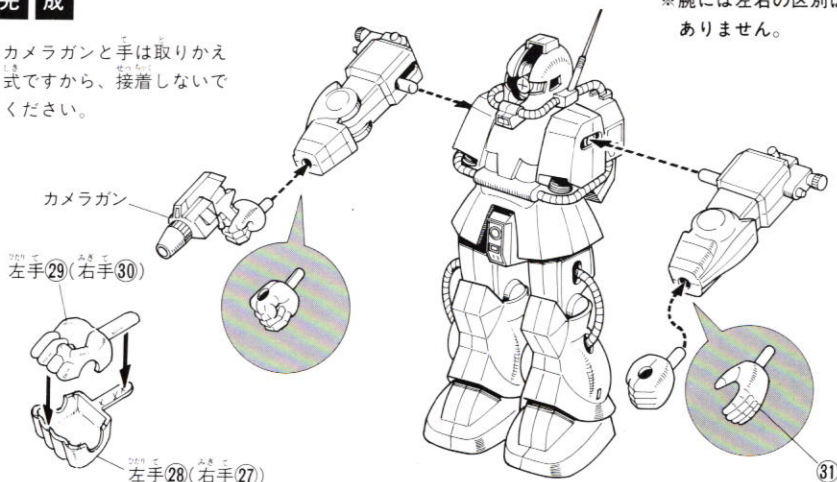
《カメラガン》



完成

- カメラガンと手は取りかえ式ですから、接着しないでください。

※腕には左右の区別はありません。



（お買い上げのお客様へ）万が一部品に不良がありましたら、その部品を取りはずし、商品名、部品の記号、部品番号、不具合の症状を書いて、下記までお送りください。良品と交換させていただきます。また、部品をこわしたり、なくした時は部品通販をご利用ください。代金は、部品代（切り取った1個40円×個数）+郵送料（120円）です。商品番号/商品名/部品の記号/部品番号/数量を明記して頂き、部品注文カード（部品注文カードのコピー、手書き可）、部品代+送料の料金（100円単位を定額小海陸、10円単位を切手）と共に封書にてお送りください（封書の裏に必ずお客様のお名前/ご住所/年齢をお書きください）。送料は実際に部品をご用意した際の重量によって変わります。また、別途手数料が必要な送付方法をご希望の場合、別料金となります。料金の不足分はご請求、超過分は残額をお返し致します。ただし、それ以外にかかった手数料等はお客様のご負担となります。在庫がない場合は申し訳ございませんがご注文をお返し致します。ご記入頂きました個人情報につきましては、商品・部品の発送及び情報の提供以外には使用致しません。部品注文の方法は、HPでもご紹介しております。詳しくは http://bandai-hobby.net/SC/2007/10/post_55.html ▶「部品注文のしかた」をご参照ください。通信費等はお客様のご負担となります。※お送りした部品に不良がある場合を除き、お客様都合での注文内容の変更、キャンセル、交換、返品は受け付けておりませんので予めご了承ください。

FOR USE IN JAPAN ONLY.

部品注文カード

04494

1/144SCALE 機動戦士Zガンダム
ザク強行偵察型

必要な部品の番号・数量をかく

●注文された理由（○で囲む）（こわした/なくした）

（日中ご連絡可能な電話番号）

■申し込み先 (株)バンダイ静岡相談センター
〒420-8681 静岡県静岡市葵区長沼500-12 TEL054-208-7520

R1004494

PAINTING GUIDE

★塗装指示や、パッケージのイラストなどを参考に各部を塗装すると、よりリアルに仕上げるでしょう。

■基本色[A]…カーキ

■基本色[B]…ウッドブラウン60%+カーキ30%+藍底色10%

■基本色[C]…ダークグリーン

[使用材質]<成形品>(スチロール樹脂:PS)

コバルトブルー+紫少量 スカイブルー

基本色[A]

黒鉄色

赤

基本色[B]

基本色[C]

基本色[A]

基本色[A]

基本色[C]

基本色[C]

基本色[B]

コバルトブルー+紫少量

基本色[A]

基本色[B]

※色を塗る時は、より安全な水性塗料のご使用をおすすめします。

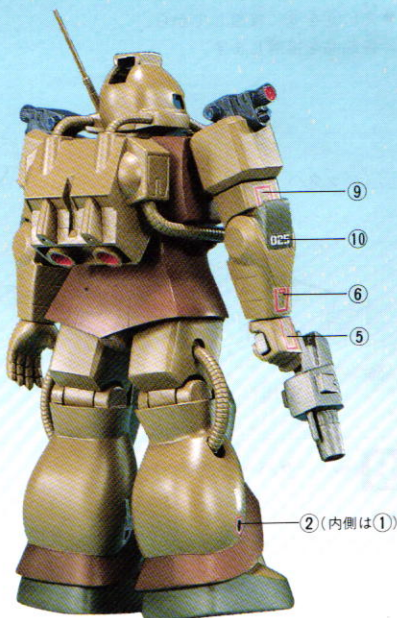
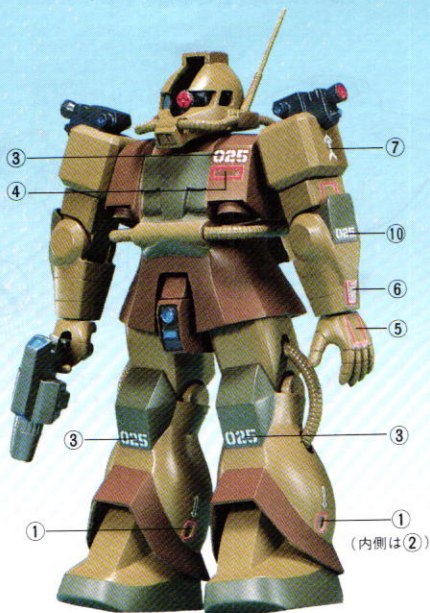
★この塗装ガイドは印刷物のため、指示の色と多少異なる場合もあります。

■デカール(マーク)……1

◆MARKING GUIDE

＝マーキングガイド＝

★③、④などの数字はデカール(マーク)の番号です。
★指定以外のマークは好きなところにはってください。



▲完成写真

デカールの はりかた

- ①デカールを貼るところの、ほこりや汚れ、油気を、ぬらした布で良くふきとってください。
- ②貼りたいデカールを、ハサミかナイフで切りとります。
- ③貼るところを確かめてから、ぬるま湯に5秒程つけて引き上げタオルなどの上に置きます。あまりながくつけていると、のりが溶けてデカールがつきにくくなりますので注意してください。特に小さい文字などはぬるま湯につけたらすぐ引き上げるぐらいにしてください。(ピンセットを利用するとよいでしょう)
- ④デカールを台紙からずらしながら貼ってください。(ピンセットを利用するとよいでしょう)
- ⑤指先に少しぬるま湯をつけデカールをぬらしながら正しい位置に貼ってください。
- ⑥やわらかく、よく水気を吸う布でデカールをそっと押し内側の気泡を押し出しながら水分をとります。デカールを貼るところが凹凸していたり曲面になっているところは蒸しタオルでデカールを押えてください。しわになった時はナイフの先で切れ目を入れてから押えます。
- ⑦貼ったあとはデカールが乾くまでさわらないようにします。
- ⑧デカールが完全に乾いたら、もう一度水でぬらした布でかるくデカールの部分をふいて、余分なりをふきとります。



ZAKU RECON<MS-06E>

■ザク強行偵察型 型式番号MS-06E

MS-06の機動力を利用した戦略偵察機として転用されたE型は、特にC型・F型と比べて装甲が薄いというわけでもなく、ユニット化された探知システムを装着した極めてマイナーチェンジの機体と言える。実際問題として簡略化して交換性を高めていたのは、戦闘状態に突入した場合の即時武装化に軍部がこだわったからであった。

しかし試作機のロールアウトした時点ではその意を多少まげて、死角から除々に軽量化が計られ、S型用のロケットエンジンをボブアップした改良型エンジンが設けられた。このE型は外見的にもそれまでのザクとは多少印象が変わり、頭部には大口径の高精度カメラが接近戦用モニターカメラに代わって装備されている。外形は通常の物を使ったが、ガラスシールドは排除され上面へ向けての縦ロール化も成されている。また機体内部には燃料スペースが10%増加され、右肩大型シールドと、接近戦用スパイクアーマーははずされていた。

新しく設置されたカメラは両肩に一基ずつ、さらに腰の関節ユニットを前方延長してカメラを収納していた。内装された各種探知システムの他には背部のメインロケットに加え、緊急離脱用のロケットが機体左右胸部に装着された。

MS-06Eは広範囲の偵察用で一般部隊に存在したが、特殊任務用として機動性と探知システムの性能向上を計ったE-3タイプが少数ながら生産された。

『ゼータガンダム』

ゼータガンダムに登場するMSVの第一弾は、ザク強行偵察型である(第10話)。従来のMSVとの相違点は、左腕にハイザック用シールドのマウントラックがついたことぐらいである。コクピットはリアシート方式に改良されている(ハイザックと共通)、手持ちの武器はなく、設定にあるカメラガンを持携帯する。

各部の名称

